

わ く わ く

9月号



本 だ な



『ねこがおおきくなりすぎた』
 ハンス・トラクスラー／作・絵 杉山香織／訳 徳間書店
 ローマイヤーさんは、ちいさなこねこをもらってきて「チビ」と名づけました。ところがチビはライオンよりもおおきくなり、まどからもドアからもそとに出られなくなりました。チビはどこまでおおきくなるのでしょうか。

えほん
(1年生～)

K913 『なにがあってもずっといっしょ』

くさのたき／作 つじむらあゆこ／絵 金の星社
 イヌのサスケは、かいぬしのサチコさんがだいすきです。ある日の夕がた、しごとがおわるじかんになってもサチコさんがかえってきません。サスケはしんぱいになり、さがしにいくことにしました。

1・2年生



K949 『のんびり村は大さわぎ!』

アンナレーナ・ヘードマン／作 菱木晃子／訳 杉原知子／絵 徳間書店
 アッペは夏休み、友だちと世界記録に挑戦しました。口にストローを何本くわえられるか、鼻の穴にマッチが何本入るかなどを試しますが失敗ばかり。けれどいいアイデアを思いつき、のんびり村のみんなと大記録を作ります。

3・4年生

K913 『きかせたがりやの魔女』

岡田淳／作 はたこうしろう／絵 偕成社
 ある雨の日、教室へいそいでいたぼくは、階段の踊り場で魔女に出会いました。〈学校の時間〉が止まっているあいだ、話をきいてほしいというのです。魔女の話は、学校に住む魔女や魔法使いがでてくる6つの物語でした。

5・6年生





えほん(1年生～)

『みちくさしよ
うよ!』
はたこうしろう／作
奥山英治／作
ほるぷ出版



えほん(1年生～)

『300年まえから伝わるとびきり
おいしいデザート』
エミリー・ジェンキンス／作 ソフィ
ー・ブラッコー／絵 横山和江／訳
あすなる書房



『^{しま}ハワイ島のボンダンス』

いわねあい／ぶん おおともやすお／え 福音館書店
まさるとかぞくは、しんせきのみちこさんにあうため
ハワイへいきました。ハワイには日本人がたくさんす
んでいて、スーパーで日本のものをうっています。ボンダ
ンス(ぼんおどり)をおどるおまつりもありました。

えほん
(1年生～)

K430 『世界の化学者 12 か月 絵で見る化学の歴史』
かこさとし／作・絵 借成社
季節の植物のにおいや、からしのからい味など、身近な
ことがらを「花ごよみ」や「味めぐり」としてしょうかい
しています。その月生まれの化学者も分かるので、あなた
と同じ^{たんじょうび}誕生日の化学者をさがしてみましよう。

ちしきの本



4年生～



4年生～

K486 『^{こんちゅう}ファーブル先生の昆虫教室
^{ほんのう}本能のかしこさとおろかさ』
奥本大三郎／文 やましたこうへい／絵 ポプラ社
ファーブル先生は、生きている虫がどんなことをするかを
くわしく研究していた、フランスの昆虫学者です。セミやホ
タルなどの14種類の昆虫について、その生活とふしぎな本
能を、ファーブル先生とともにたのしく観察できます。

ちしきの本

K289 『^{ちりゆきえ}知里幸恵物語 アイヌの「物語」を命がけて伝えた人』
金治直美／著 PHP 研究所
北海道に住んでいた「アイヌ」の人びとは、わたしたちとち
がう歴史や文化を持っていました。ことばや文化が消されよう
とするなかで、アイヌに伝わる美しい物語を書き残したのが知
里幸恵さんです。幸恵さんはどんな女性だったのでしょうか。

ちしきの本



5年生～